



カレンダーもいよいよ最後の1枚を残すところになりました。朝、布団から出るのが億劫な季節になりましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか？

高齢者介護施設では、施設の特徴によりノロウイルスが発生、重症化しやすいという特徴があります。サンセル市川では今一度感染対策を見直そうと勉強会を実施いたしました。全職員で感染対策を徹底し、ご利用者様が元気に過ごせるよう精進してまいります。



ノロウイルスの対策

ノロウイルスは、接触感染・飛沫感染・空気感染で人から人へ感染していきます。まずはしっかりと手洗いが必要となりますので、手洗いの徹底・手指衛生の徹底・健康管理が大切です。

また二枚貝はノロウイルスを蓄積している恐れがあります。流通している二枚貝では、カキ・シジミ・ホタテ・ムール貝などからウイルスが検出されており、主に加熱不足による感染が主に原因となっています。中心部まで十分に火が通っていないとウイルスが残存していますが、**ノロウイルスは85度1分の加熱で死滅します。**

サンセル市川では加熱処理するメニューの際は85度以上の温度になるまで加熱し提供しています。この季節はカキが美味しい季節となりますが、もし召し上がる際は生ではなく加熱処理をきちんとしたものを召し上がることをおすすめします。

主にウイルスが潜む場所

- ・便座、フタ
- ・水道の蛇口とシンク
- ・トイレの水洗レバー
- ・盛り付け台
- ・ドアノブ
- ・テーブル、イス
- ・手洗い場の蛇口とシンク
- ・エスカレーター(手すり)
- ・エレベーターのボタン
- ・車イスの押し手
- ・浴槽
- ・冷蔵庫・冷凍庫の取っ手



～勉強会の様子～



こまめな消毒を心掛けています☆

